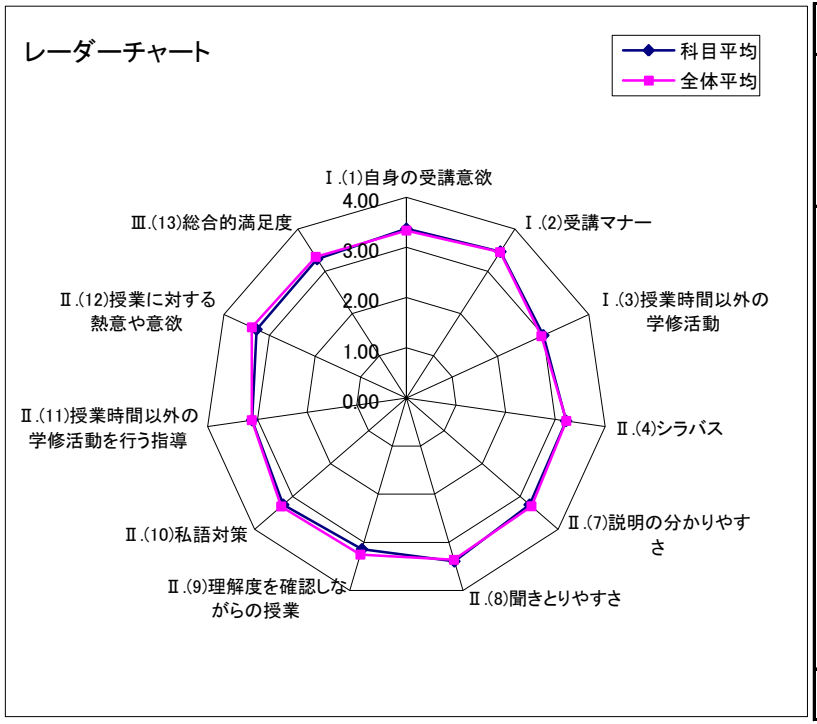
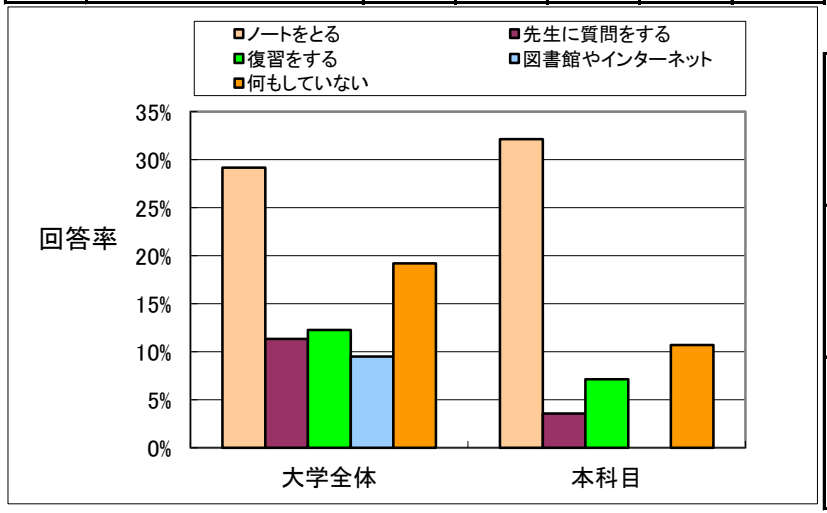
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.37	3.33
	Ⅰ.(2)	3.46	3.45
	Ⅰ.(3)	3.00	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.21	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.25	3.30
	Ⅱ.(8)	3.39	3.36
	Ⅱ.(9)	3.14	3.25
	Ⅱ.(10)	3.25	3.30
	Ⅱ.(11)	3.11	3.11
	Ⅱ.(12)	3.29	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.29	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	32.1%	3.6%	7.1%	0.0%	10.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.28	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.23	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.29	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	2438
科目名	経営倫理学Ⅱ／経営倫理学
教員名	

①授業計画の達成度について

授業の開始時に、詳細な「予定表」を学生に渡し、それに則って授業を進めた。
下記に記述したように、学生との「対話」、Ｑ＆Ａを重視したので、質問への回答に想定外の時間をとられたこともあったが、概ね、予定した内容を消化できた。

②授業の進め方について

今期の授業の構成は以下のようであった。
1　前回の授業内容についての質問に答える
2　シラバスに従って、当日の授業を進める
3　次回に質問に答える旨の説明をして、受講生に本日の授業でわからなかったことや疑問、常日頃疑問に感じていること等の記載を求める。
尚、私語については、「私語厳禁」「ケータイ類使用禁止」と板書したうえで、授業中にも口頭で適宜注意するなど、適切な授業環境の構築に努めた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本年度の授業の特徴は以下のことを徹底させたことである。
授業後に、毎回、受講生に、今日の授業でわからなかったこと、疑問点等を半ば「強制的に」(「何もなし」「ありません」類の記載は禁止である、と説明して)書いてもらい、提出された事柄について、復習を兼ねて説明し、当日の授業内容に移った。
これによって(「何もなし」「ありません」類の記載を禁止することによって)、受講生が理解できていないこと、担当者の説明不足の箇所、彼らの問題意識等を、同じような質問が繰り返し見られたこともあったが、今年は、例年以上に、知ることができた。
そのため、本期の授業では受講生との一体感を強く感じる時間が多々あったが、アンケート評価を見ると、全体平均よりも低い評価もあり、担当者の「独り相撲」だったのかと思うような数字が上がっている。但し、受講学生の自己評価も同じような数字であるために、妥当な結果とも言えるようでもある。
次年度は、今期の方法をより徹底させ、２点ないしは１点という評価の受講生がゼロになるように配慮する。そうすれば、結果が自ずからついてくるであろう。

奈良産業大学